

2. NR・サプリメントアドバイザー養成講座及び食の安全管理士・健康食品管理士養成講座

【開講の目的】

特定保健用食品や栄養機能食品などの保健機能食品の制度は、食生活において、生活習慣病などの予防に食品の機能性を積極的に活用したいという社会的ニーズに応えるために創設されたものであり、これらを有効に活用することで、健康の維持増進だけでなく、疾病リスクの低減効果も期待できるようになってきた。しかし、一般的には、有効性や安全性が確認されていない健康食品などと混同されている場合も多く、ある種の健康食品を摂取することによる健康被害や医薬品との相互作用に関する問題も発生しており、保健機能食品や健康食品に関する正しい知識を取得することは、薬剤師にとっても重要な課題である。これらに関する知識をより積極的に関連付け、統合し、実用性の高い知識と技術を取得できるようにすることを目的として、**保健機能食品等の正しい情報提供の資格である「アドバイザースタッフ」としての「NR・サプリメントアドバイザー」及び「健康食品管理士・食の安全管理士」の資格認定試験の受験資格**を取得できる本講座を開講した。

健康の維持・増進を目的として保健機能食品をはじめとする、いわゆる「健康食品」を摂取される方の中で、摂取との関連が疑われる健康被害が報告されることがある。

厚生労働省 (<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/hokenkinou/1d-7.html>) では、**アドバイザースタッフ**とは、いわゆる「健康食品」の摂取を検討されている方または既に摂取されている方が、自らの健康づくりを進める上で目的にあった食品や、食生活の状況、健康状態に応じて、安全かつ適切に選択することができるように、健康食品に含まれる成分の機能や活用方法等について、正しく情報を提供できる助言者のことである、と定義し、消費者庁 (https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/health_food/advisory_staff) では、資格認定を行っている主な団体として、公益財団法人日本健康・栄養食品協会「**食品保健指導士**」、一般社団法人日本食品安全協会「**食の安全管理士・健康食品管理士**」、一般社団法人日本臨床栄養協会「**NR・サプリメントアドバイザー**」の3つを挙げている(50音順)。

本校においては、NR・サプリメントアドバイザー養成講座指定科目を全て受講・単位取得した者(次頁以降の一覧表参照のこと)には、一般社団法人日本臨床栄養協会が実施する**NR・サプリメントアドバイザー資格認定試験の受験資格**(毎年12月)が与えられる。したがって、5年次から受験可能となる。受験についての詳細は、日本サプリメントアドバイザー認定機構(日本臨床栄養協会)ウェブサイト <http://www.jcna.jp/>で確認すること。

また、健康食品管理士養成講座指定科目を全て受講・単位取得した者(次頁以降の一覧表参照のこと)には、一般社団法人日本食品安全協会が実施する「**食の安全管理士・健康食品管理士**」資格認定試験(毎年春5月・秋12月の2回)の受験資格が与えられる。こちらは、4年次秋期の資格認定試験から受験可能である。なお詳細については、同協会のウェブサイト <http://www.ffcci.jp/index.html>で確認すること。

なお、いずれのアドバイザースタッフの資格も、試験合格後、資格認定・資格更新のために、各協会の会員(有料)として登録する必要がある。その詳細についても、それぞれのウェブサイトを確認しておくこと。

【各養成講座受講対象学科】

※NR・サプリメントアドバイザー養成講座...薬学科のみ

※食の安全管理士・健康食品管理士養成講座...薬学科・生命創薬科学科

なお、資格取得試験の受験を希望する学生は、以下の指定科目を必ず履修しておくこと。

NR・サプリメントアドバイザー 養成講座指定科目一覧及び対応科目・履修年次対照表
(2015年度以降入学生)

指定講座	対応科目と履修年次			
	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
栄養食品学特論	衛生化学Ⅰ	衛生化学Ⅱ	健康食品論	
		調剤学		
		地域医療薬学Ⅰ		
臨床医学・薬学特論		臨床生化学	健康食品論	医薬関連制度
		生物薬剤学	臨床栄養学	
		東洋医学概論		
健康食品	衛生化学Ⅰ	衛生化学Ⅱ	健康食品論	
		地域医療薬学Ⅰ		医薬品安全性学Ⅱ
食品の表示			健康食品論	
食品の安全性と衛生管理		衛生化学Ⅱ		
栄養・食生活、「健康食品」と生活習慣病	公衆衛生学Ⅰ	臨床生理学Ⅰ		臨床生理学Ⅱ
		臨床生化学		
栄養教育特論	医療心理学		臨床栄養学	
科学的根拠に基づく栄養実践活動			医薬品安全性学Ⅰ	
			公衆衛生学Ⅱ	
			医薬品情報学	
NR 倫理			健康食品論	医療倫理学
			臨床栄養学	
関連法規		衛生化学Ⅱ	薬事関係法規	
			健康食品論	
			公衆衛生学Ⅱ	
健康科学・栄養学トピック	公衆衛生学Ⅰ			

演習科目	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
安心できるアドバイス	公衆衛生学Ⅰ		病院・薬局実習事前実習	
	医療心理学			
科学的根拠に基づくアドバイス	公衆衛生学Ⅰ		プレゼンテーション実習	
			病院・薬局実習事前実習	

※1 複数の指定講座に対応している科目は、2科目以降、網掛けして表している。

※2 各対応科目中のNR養成指定講座に対応する範囲は、シラバス中の各科目の項に記載する。

食の安全管理士／健康食品管理士養成講座指定科目一覧及び対応科目・履修年次の対照表
(2015 年度以降入学生)

基礎科目	対応科目と履修年次			
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
生化学 (栄養化学を含む)		生化学Ⅱ 生化学Ⅲ		
解剖学	解剖学 生化学Ⅰ			
生理学	生理学Ⅰ	生理学Ⅱ		
その他基礎医学系教科		微生物学Ⅰ・Ⅱ 病理学 病態評価学	ゲノム医学 臨床医学概論Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生学Ⅰ 免疫学 臨床生化学	
専門科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
健康食品学			地域医療薬学Ⅰ	健康食品論
食品衛生学 (講義)			衛生化学Ⅰ・Ⅱ	
食品衛生学を含む (実習)			衛生化学実習	
臨床検査学又は臨床栄養学			疾病解析学	臨床栄養学
薬理学		薬理学Ⅰ		
関係法規				薬事関係法規

食の安全管理士／健康食品管理士養成講座指定科目一覧及び対応科目・履修年次の対照表
(2024年度以降入学生)

基礎科目	対応科目と履修年次			
	1年次	2年次	3年次	4年次
生化学（栄養化学を含む）		生化学Ⅱ 生化学Ⅲ		
解剖学	解剖学 生化学Ⅰ			
生理学	生理学Ⅰ	生理学Ⅱ		
その他基礎医学系教科		微生物学Ⅰ・Ⅱ 病理学	ゲノム医学 臨床医学概論Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生学Ⅰ 免疫学 臨床生化学 臨床生理学Ⅰ	
専門科目	1年次	2年次	3年次	4年次
健康食品学			地域医療薬学Ⅰ	健康食品論
食品衛生学（講義）			衛生化学Ⅰ・Ⅱ	
食品衛生学を含む（実習）			衛生化学実習	
臨床検査学又は臨床栄養学			疾病解析学	臨床栄養学
薬理学		薬理学Ⅰ		
関係法規				薬事関係法規